

大学進学を目標としている高校生や受験生の方々へ、こんにちは。本年度第1号のメルマガです。

高知大学の入学式は桜が咲き始めた4月3日(月)に行われ、1167名の学部生と168名の大学院生が新たに大学生活をスタートしました。新入生のみなさん、入学おめでとうございます。

INDEX.....

新たなスタート

.....

高知大学の教育組織は6つの学部(人文社会科学部、教育学部、理工学部、医学部、農林海洋科学部、地域協働学部)と、学部・学科のカリキュラムから独立した本学独自の土佐さがけプログラム、それに大学院総合人間自然科学研究科からなります。本学には、5,500名の学生が学び、700名の教員と1,000名の事務・技術職員が勤務しており(人数はいずれも概数)、国立大学のなかでは中規模の総合大学として位置づけられます。

本学入学者の出身地は全国に及び、北海道から沖縄まで全国47都道府県出身の学生が在籍しています。高知県出身者も含めて全学生の約8割が親元を離れてアパートや寮で生活し、大学へ通って学んでいます。

大学本部の所在地は高知市の朝倉キャンパスで、ここに人文社会科学部、教育学部、理工学部、地域協働学部があります。南国市の物部(ものべ)キャンパスには農林海洋科学部が置かれ、すぐ近くに高知龍馬空港があります。その北北西方面に立地する同じく南国市の岡豊(おこう)キャンパスに医学部と附属病院があります。

高知県北部は険しい四国山地で閉ざされています。県土の83%は森林が占め、その森林率は全国1位です。また、四国山地を源流とする清流四万十川や「仁淀ブルー」として知られる仁淀川などの河川も有名です。一方で、室戸岬と足摺岬を東西の両翼とする県の南側は、その沖を黒潮が流れる広大な太平洋に臨んでいます。高知県は山、川、海の豊かな自然に恵まれ、灼熱の夏には、全国に広まった土佐の「よさこい祭り」に本学学生も参加して大いに盛り上がります。幕末期の坂本龍馬や自由民権運動の板垣退助らを輩出したこの高知という地には、進取の気性と情熱、豪快さを生み出す素地があるのかも知れません。

これから1年間、月2回のペースで高知大学の魅力を紹介していきます。どうぞよろしくお願いします。

・高知大学の最新の様々な入試情報は下記のURLからご覧ください。

<http://nyusi.kochi-u.jp>

※次回は 4 月 28 日（金）に配信予定です。[毎月第 2・4 金曜日]

.....

高知大学メールマガジン vol.1

編集発行：奥田 一雄（アドミッションセンター長）

.....